



# 公立山城病院新聞

YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

日本医療機能評価機構認定病院

発行元 公立山城病院  
発行元責任者 中埜 幸治

地域住民の皆さまに  
安心、安全な医療の継続を  
提供するために



平成20年6月23日(月)に公立山城病院の9階会議室において第1回「公立病院のあり方検討委員会」を公開で開催いたしました。

公立病院は、全国的に医療制度改革や深刻な医師不足などに直面しております。このような背景から、総務省は昨年12月に「公立病院改革ガイドライン」を発表し、平成20年度内に病院改革プランの策定を義務づけました。

公立山城病院では、地域の皆さまがたへの医療提供サービスを充実させると共に、良質な医療を継続して行えるよう、有識者や関係省庁などを交え「公立病院のあり方検討委員会」を発足しました。

第1回の委員会では、病院の現状についての説明や、診療所や病院間の連携(地域連携)の重要性等、活発な議論が交わされました。今後、この委員会では、より良き医療を住民の皆さまに提供するため、専門家等からのご意見を参考に、地域における当院の果たすべき役割を改めて明確にするとともに、経営の効率化等に関する改革プランを策定する予定です。

## 検討委員会の主な審議事項

- ① 将来像の設定に関する事
- ② 改革の目標設定に関する事
- ③ 経営改善の実施計画に関する事
- ④ 一般会計負担の考え方など
- ⑤ その他必要と認めること

## 薬剤部からのお知らせ 院外処方について

今年の3月より、全ての外来患者様に院外処方箋を発行させていただくようになり、4ヶ月が過ぎました。患者様には、調剤薬局でお薬を調剤してもらおうことになり、大変ご不便かとは思いますが、ご理解とご協力をお願い致します。

院外処方では、「かかりつけ薬局」を決めることで、他の医療機関の薬との相互作用をはじめ、薬の作用、副作用、飲み忘れた時の対応など詳しい説明をうけることができます。また、最近話題になっている後発薬(ジェネリック医薬品)への変更も可能です。後発薬とは、新薬(先発薬)の特許が切れた後に、同じ成分で作られる医薬品のことです。この4月から処方箋の形式が少し変わり、後発薬の使用が「不可」の場合だけ、処方箋右下の欄に医師が署名することになっています。以前は後発薬を使ってもいい場合にサインする仕組みでした。「原則」と「例外」をひっくり返し、値段が新薬の2〜7割と安い後発薬の使用を増やす狙いがあります。

院外処方箋は、調剤している薬局であれば全国どこでも受けとることが出来ます。有効期限は発行した日を含めて4日間となっていますのでご注意ください。また、薬剤部の窓口にはFAXを設置しますので、自宅や職場の近くなど遠方の薬局を利用される方はご自由にお使い下さい。その他ご相談や質問等がございましたら、お気軽に薬剤部までおたずね下さい。



## 5月1日から 完全フィルムレス運用を開始しました

「レントゲンフィルムをシャカカستنにかけ、診断する」というのは、X線の発見以降、多くの病院で行われてきた診療スタイルです。しかし、当院では、本年5月1日からこのような光景がみられなくなりました。検査画像のフィルムへのプリント(焼きつけ)を完全になくす運用方法(フィルムレス運用)を開始したからです。

フィルムレス運用では、各医師はレントゲンフィルムではなく、病院内の各部署に配置されたコンピュータの画像を見て診断することになります。この運用は、フィルムや現像液が不要となるため、環境にやさしい運用であるということが出来ます。

良いところは、それだけではありません。①検査後すぐに院内のどこからでも複数の医師が画像を見ることが出来るため、正確な診断をいち早く行うことが可能です。②コンピュータの画面上で、フィルム以上に細かい診断が可能で、例えば、当院のCTは情報量が多いため、フィルムでは、そのうちの一部しか見ることが出来ません。コンピュータの画面上では全ての情報を表示できるため、より小さな病変を見ることが出来ます。③各医師が必要に応じて、その場でタテ・ヨコ・ナメ自在の断面や立体画像を作って診断することも可能です。④過去の画像データを瞬時に呼び出して比較検討することが可能です。⑤他の診療データと電子カルテ上で結びついているため、総合的に正確な診断をすることが可能です。⑥心臓カテーテル検査などで得られた動きのある画像は、一枚のフィルムで見ることが出来ませんが、当院のフィルムレス運用では、外来でも病棟でも動きを直接見ることができ、病気の理解に役立ちます。

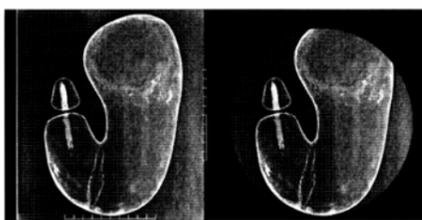
今後当院では、紹介元あるいは紹介先の医療機関へも、たくさんの情報をお伝えするために、フィルムではなく、電子媒体(CDもしくはDVD)で画像をお送りするようにすすめていきます。

フィルムレス運用を行っている病院は、日本ではまだ少数ですが、以上のように様々な利点があり、今後は、全国的に広まっていくと思われれます。

(放射線科部長 石原 潔)

## X線血管造影装置・デジタルX線テレビ装置が更新されました

従来の装置の経年劣化に伴い、本年4月にX線血管造影装置およびデジタルX線テレビ装置を更新いたしました。更新に伴い大きく変化した点は、従来はX線を検出する部分がII(イメージ・インテンシファイア)と呼ばれていたものが、FPD(フラットパネル検出器)に変更されたことです。



FPDの利点として次のような事が挙げられます。①円形だった視野が四角形になり、大視野サイズで撮影することが可能となりました。②中心部から周辺部まで歪みの無い画像が得られるようになりました。③ノイズやハレーションが低減されるのできれいな画像を提供することができるようになりました。

このようなFPDの特徴を生かし、従来より鮮明で診断価値のある画像が提供可能となっております。次に、それぞれの機器の特徴を紹介いたします。

### X線血管造影装置

Infinix Celeve-i INF-X-8000V

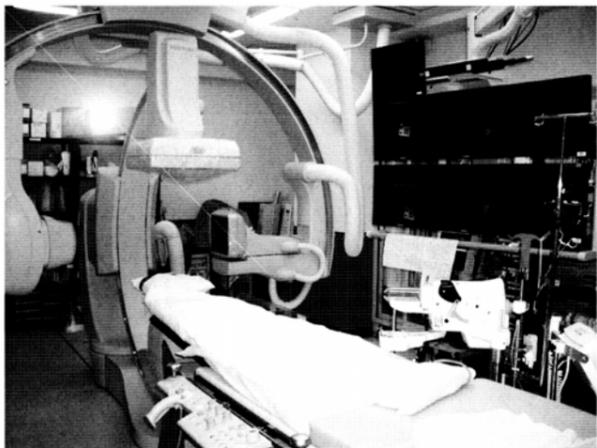


バイプレーン型と呼ばれるタイプで、撮影を行う装置が直交して2台装備されています。同時に2方向撮影ができるようになったため、検査時間が短縮され、造影剤の量を減らすことができるようになります。

また、血管の3次元画像が作成可能となり、これを回転させて病変部の大きさや位置情報を解析することで、より高度な治療が可能となりました。さらに、CTのような輪切り画像が作成可能となり、より一層の医療情報を提供できるようになりました。

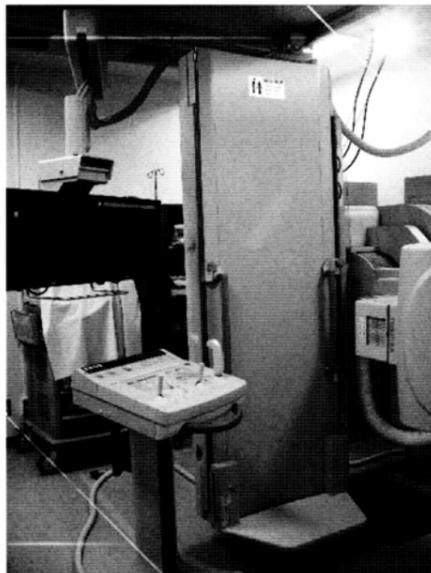
これらの機能を駆使して、脳動脈瘤や頸動脈狭窄・心臓カテーテル治療・肝腫瘍の治療などの高度な治療が安全かつ的確に行え、検査時間の短縮が可能となっています。透視による被ばくの増大が大きな問題になるため被ばくを極限まで低減するMind (Minimized Dose) 機能も加わり、患者さんに優しい検査環境となりました。

血管造影装置



### デジタルX線テレビ装置

NEXTRA FDD Ver.



デジタルX線テレビ装置

人間ドックをはじめとするバリウム検査、胆管や膵管造影検査などで使用されています。FPDの利点を生かしつつ、従来より被ばくの総量は低減されています。デジタル補償フィルタ機能を用いることにより、黒つぶれしていた画像情報も見えるようになり、診断能が大きく向上しました。

この装置は、血管造影検査を行うことも可能で、心筋梗塞など治療を急ぐ緊急症例が重複した場合、前述の血管造影装置と同時平行で、検査・治療を行うことが可能となりました。さらに、観察範囲が177cmと幅広くとることができるようになりました。患者さんにはほとんど移動してもらったことなく検査が可能になりました。また、寝台は左右方向にしか移動しないため、移動の際の恐怖感も低減されています。寝台が床上48cmまで降下するので、御高齢者の方・子供さん、車椅子の方なども乗り降りしやすくなりました。放射線科に導入されたこれら最新機器を有効に利用し、地域の皆様に、これまで以上に安全で高度な検査・治療を提供してまいります。

### 診療科紹介 外科

外科診療部長 菅沼 泰



当科は、各学会の指導医、専門医、認定医の資格を持った常勤医師6名が診療に従事し、常に最新の治療ができるよう努力しております。

外来診療は月曜から金曜まで毎日行っています。将来は、内分泌疾患、小児外科疾患、各臓器悪性疾患専門外来の開設を計画しており、周辺地域の要望に今以上に細かく対応できるよう準備中です。いわゆる急性期診療科として日常は多岐にわたる外科疾患の診療にあたっております。外傷、消化器の良性疾患、乳腺疾患、小児科領域の外科的疾患など広い範囲に及ぶ様々な疾患に対しては、最新の専門知識と技術で治療にあたっております。

そのような日常の中にあつて当科では、日本人の死亡原因疾患(死亡率)1位である「がん」の治療成績の向上を常に目指しています。現在、日本においては癌治療の均てん化が進み標準的な治療法が広く行き渡っています。当科においても、乳腺内分泌、消化器領域の癌治療に関しては、医師各々が専門医として最新の知識と技術を身に付けるよう常に努力しながら、その時点で最良とされる標準な外科的癌治療をおこなっております。具体的には、手術治療が中心となるのはもちろんですが、術前、術後の化学療法を中心とした補助療法も積極的に行っております。周辺地域で癌に罹った患者の皆様をできるだけ多く治療する努力を怠らないのはもちろん、数多くの医療機関と関わりを持ち、お互いの協力を強化して可能な限り癌早期治療のための早期発見が必要です。そのためにも、今以上に地域連携を深め、お互いの協力の下に京都南部の地域医療に貢献したいと考えております。

### 相楽医師会 市民公開フォーラム 第15回きょうと健やか21 in相楽 「乳がん検診の現状と未来」

#### 講演

「相楽地区における乳がん健診と山城病院での乳腺診療の現状」

公立山城病院副院長 中井一郎



#### 講演要旨

乳癌は早期に全身転移を来しやすいので、早期発見のため検診受診と自己検診の励行が推奨されます。厚生労働省の指針

変更により、京都府下でも全市町村がマンモグラフィ併用検診となっております。マンモグラフィは検診時に痛みを伴いますが、検診精度はかなりの向上しています。(検診で見つかった乳癌症例の3分の2はステージIまで)。相楽郡では年間3000名が乳癌検診を受診され、4〜8%の方に二次検診を受けて頂いております。死亡率を低下させるには、さらに受診者数の増加が望まれますが、費用や人員などの問題も出てきています。さて、公立山城病院は相楽郡で唯一の精密検査医療機関です(京都府全体で28施設)。当院には乳腺用超音波・マンモグラフィ(精中委認定施設)・マルチスライスCT・MRIなどが完備されており、精度の高い二次検診を受けていただけます。また、実際の乳癌症例を年間40例程度経験し、治療を実施しております。当地区での標準的乳癌治療の確立を目指しておりますが、コストや年齢(高齢者)を考慮して、一人一人治療方針を立てています。また、希望に応じて温存手術や術前化学療法を行っております。二次検診でなくても人間ドック、外科外来(予約制)受診の形で診療できますので、乳腺についてご心配がありましたら一度受診してみてください。

### ●第3回住民医療フォーラム 動脈硬化とその対策

テーマ①  
足の動脈硬化について

放射線科血管内治療専門医 田中治



「動脈硬化といえは脳梗塞や心筋梗塞・狭心症など頭や心臓の病気というイメージが強いですが、実は足にも動脈硬化がおこることがあります。『閉塞性動脈硬化症(ASO)』と呼ばれるものです。足の血管に動脈硬化が起こると、血管が狭くなったり詰まったりして血流が悪くなります。下肢の冷感やしびれ・間欠性跛行(歩くときふくらはぎなどの筋肉が痛くなり、しばらく休むと痛みが治まってまた歩けるようになる)といった症状が現れます。閉塞性動脈硬化症は脳や心臓の動脈硬化症とも密接な関係があるといわれており、足の動脈硬化を契機に脳や心臓の動脈硬化が発見されることもあります。病状が進行すれば壊疽(足が腐る)を生じ最悪下肢の切断が必要となることもあります。放置すれば非常に怖い状態になることもあります。重症化の予防には早期発見・早期治療が非常に大切です。早期発見には一般に『血管年齢検査』と言われている、足の血圧を測定する検査が非常に有用です。正確には『足関節上腕血圧比』といいますが、両手足の血圧を測るだけでですので外来で出来ます。高価な器械のため以前は大きい病院にしかありませんでしたが、最近は個人医院にも設置されている施設もあるようです。気になる方はいちどかかりつけ医に相談されては如何でしょうか? また、当院では毎週木曜午後外科3診において放射線科血管内治療専門医による外来も行っています(完全予約制)。『足の動脈硬化が心配』『もっと詳しい話を聞きたい』『気になるので一度診察して欲しい』という方は是非受診してください。」

テーマ②  
心臓の動脈硬化とその対策(狭心症そして心筋梗塞)  
循環器内科診療部長 富安貴一郎



「今日の日本人の死因の最たるものは癌であり、動脈硬化が原因である脳血管障害や心臓病が多い。しかし、癌の治療は早期発見・早期治療が基本で、その予防は困難である。一方、動脈硬化は加齢・遺伝など回避不可の素因もあるが、かなり動脈硬化を予防できる事も解ってきた。それは高脂血症・糖尿病・高血圧・肥満が複合した病態、いわゆるメタボリック症候群を改善させる事で達せられる。その改善には必要摂取量の食事・汗をかける程度の運動などを行い、喫煙・睡眠不良・過剰なストレスを避けて、また必要に応じて薬を服用することにより動脈硬化を予防していくことが可能となるのである。」

「というのは、例えば心筋梗塞は日本では毎年15万人が発症している病気で、木津川市を含めた相模郡の人口約10万人に年間約50人が発症している計算になる。医学の進歩に伴い心筋梗塞死亡率は改善されてはいるが、未だゼロではない。心筋梗塞急性期の治療とは、突然閉塞を起こした心臓を栄養する冠状動脈のすみやかな再開通を図り心筋壊死を最小限に留めて心機能を維持しつつ致死的な合併症を予防し救命する事であるが、そのためには病院での迅速で適切な診断と治療が必要となる。診断方法としては従来の心電図などの検査に加え、近年登場した心臓CT検査も優れた機器で、また治療方法は心臓カテーテル治療が極めて有効である。当院ではこれら検査や治療に加え地域の救急隊とも協力体制を整えて、この3年間で急性心筋梗塞症例の約93%を救命したが、来院時心肺停止状態などの重症心筋梗塞患者の救命や社会復帰はなかなか困難であった。これは医療スタッフだけではなく、市民の心肺蘇生処置も含めてまでの救命の連鎖が要求されており、やはり普段から心筋梗塞にならないようにしておくことが最も重要なのである。」お二人の先生から医療への熱い思いを51人の参加された住民の皆様が熱心に聞かれました。

### 臨床工学室紹介

臨床工学技士 吉本和輝

2008年4月1日より公立山城病院に臨床工学室が誕生しました。耳慣れない医療職ですが、臨床工学技士は生命維持装置の操作および保守管理を業務とした専門職です。呼吸、代謝、循環分野にそれぞれ人工呼吸療法、血液透析をはじめとした血液浄化、人工心肺装置、心臓ペースメーカーなどの管理操作、その他医療機器の保守管理を行います。

臨床工学技士は、医師・看護師や他の医療職とともに安全な医療を提供していくことと平行して、医療機器の点検、修理などの医療機器安全管理業務を行うという臨床業務と保守点検業務と2面性をもっています。

現在の医療機器は、医療の高度化にともない操作をするにあたり、より専門的な知識、技術が必要となつていきます。要求されるミッションに因應するため、医療機器を安全に管理運用していく部署として臨床工学室は誕生しました。現在、臨床工学室スタッフ6名は血液浄化、人工呼吸法、心臓カテーテル、ペースメーカー管理業務、そして医療機器の保守点検を行っています。

医療法の改正により病院内における医療機器の安全管理体制を整えることが義務付けられました。安全な使用を目的とした医療機器の定期点検の実施、研修会の開催などがその一例です。その中で、私たち臨床工学技士は医療機器のスペシャリストとして院内の医療機器安全管理に協力できるようにスタッフが思いをひとつにして日々精進してまいります。

### 看護部ニュース

#### 新人研修

##### ▼教育委員会より

本年度より看護部の教育体制は個々の成長への動機づけを行い育成と評価のできるクリニカルラダーを取り入れます。従来の目標管理と合わせ一人一人の能力が開発できることを目指します。

### ●今年度入職者「私達頑張ってます」

右も左もわからずオロオロする事ばかりですが、周囲の方に支えられなんとか2ヶ月がたちました。毎日1つでも多くの事が習得できるよう、今後も頑張ろうと思えます。

- 外来 石丸有佳里
- 手術室 澁谷 敦子

看護技術を基本から教えて頂き、よい復習になりました。各病棟で実際に働いている方が教えに来て下さったので、どういう方がいる職場なのか知れて安心できました。

- 3F 前田 知里
- 4F 奥口 碧梨



毎日、業務に必死になっていた時、ふと患者様に「ありがとう」と言われました。飛び上がりたいぐらい嬉しく、その日は大変さが吹き飛びました。笑顔を忘れず頑張ります。

- 5F 高木 美幸
- 6F 杉延 恵

就職して2ヶ月がたちました。給料をもらう度、見合った働きができていのかと思えます。まだまだ知識不足なところがあるので、勉強や技術修得に頑張ろうと思えます。

- 7F 畑山 美幸
- 8F 富田ひとみ

# 看護の日 健康フェスタ 2008

池田有紗



5月12日、ナイチンゲールの誕生を記念し「看護の日」の行事として健康フェスタを行いました。

事前の準備によって市役所や近隣のスーパーに手製のポスターを貼らせていただき、病院内各所やホームページに看護の日イベント開催のお知らせを掲載することができました。

当日は1階エスカレーター前通路で、看護師が身長・体重・体脂肪・腹囲などを測定しました。また、医師・看護師・監理栄養士・ソーシャルワーカーによる相談窓口を設けて、生活習慣病や食事療法・介護相談などを受け付けたり、正しい手洗い方法の指導も行われました。



イベントに参加された患者様やご家族は147名で、記念品として看護の日グッズ(絆創膏・付箋・蛍光カラーペン・禁煙バッジ)をお渡しすることが出来ました。

参加された患者様は、「体重は普通なのに体脂肪が高くてビックリした」など言われたり、運動の方法・食事の方法などを聞かれる方も多く、数値として知ることにより健康をより意識していた



だけたのではないかと思います。看護の日実行委員会では、会場設営や測定器具の種類・測定順序などに課題及び改善点がありますが、来年度も健康に役立ち、地域に密着した関わりを持てる企画を検討していく予定です。

## 《おわび》

木津川市広報⑦号への記載では「骨密度測定」を看護の日にしますととなっておりますが手違いにより準備が出来ませんでした。「骨密度測定をしたい」と思い参加したのに残念です。とお声を頂き大変申し訳なく思っております。今後開催をさせて頂くイベントの中で検討して参りたいと存じます。皆様のご期待にお答えできなかつた事を深くお詫び申し上げます。

企画責任者 看護部長 中村

# 病院合同就職説明会 in KYOTO

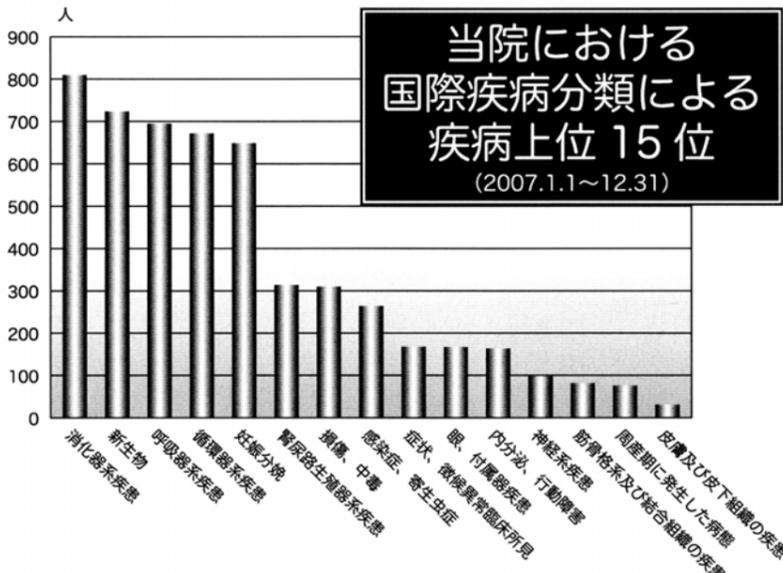
in KYOTO

去る6月8日(日)京都市産業会館にて病院合同説明会 in KYOTOが開催され、京都府下15施設の病院が参加しました。11時00分イベント開催と同時に来春卒業予定の看護学生が入場してきました。中には、千葉、鳥取、名古屋、岡山などの遠方から来る学生もあり、皆それぞれ希望に満ち溢れた笑顔で話を聴き入っていました。当院ブースでは看護部長・副看護部長の和やかな話しぶりが人気を集め、他にはない笑い声の響く説明会となりました。

今、医療現場では医師、看護師不足が深刻となっております。看護師不足の背景には医療をとり巻くさまざまな問題が関連してまいりますが、手厚い看護を望む患者様や医療の安全を確保することが最も重要な課題と考え、取り組んでいます。



## 当院における 国際疾病分類による 疾病上位 15 位 (2007.1.1~12.31)



## 当院における国際疾病上位 15 位内訳 (2007.1.1~12.31)

消化器系疾患	新生物	呼吸器系疾患	循環器系疾患	妊婦分娩及び褥婦	腎尿路生殖器系疾患	損傷、中毒	感染症、寄生虫症								
大腸ポリープ	204	胃・腸・肝・胆のう	378	インフルエンザ・肺炎	391	脳梗塞	132	分娩	536	腎・尿管結石症	102	上腕骨、大腿骨他の	190	胃腸炎	156
虫垂炎	67	乳がん	56	気管支喘息	92	心不全	96	切迫産産、		腎不全	60	部位の断裂		B・C型肝炎	18
そけいヘルニア	67	肺がん	25	気胸	22	狭心症	90	重症妊娠悪阻、他	113	尿路感染症	31	薬物中毒、		敗血症	8
イレウス	51	子宮筋腫	22	肺気腫	14	虚血性心疾患	55			子宮脱	10	有毒動物との接触、他	120		
胃潰瘍	44					心筋梗塞	46								
他	377	他	243	他	176	他	253			他	111			他	82
計	810	計	724	計	695	計	672	計	649	計	314	計	310	計	264

症状、徴候異常臨床所見	眼、付属器疾患	内分泌、行動障害	神経系疾患	筋骨格系及び結合組織の疾患	周産期に発生した病態	皮膚及び皮下組織の疾患							
熱性痙攣	22	老人性初発白内障	161	糖尿病	107	髄膜炎	13	川崎病	14	低体重児・早産児	43	蜂巣炎、リンパ節炎	31
不明熱	21			脱水症	15	てんかん	12			新生児黄疸	12		
めまい症	19			低血糖発作	11	パーキンソン病	9						
意識消失	19												
他	87	他	6	他	31	他	65	他	68	他	21		
計	168	計	167	計	164	計	99	計	82	計	76	計	31

## 就職説明会のお知らせ



♥先輩ナースと  
話してみませんか?

7月31日(木) 8月21日(木)  
14時~16時迄 9F会議室

## 第7回 生活習慣病フォーラム メタボリックシンドローム

~脳梗塞・心筋梗塞にならない為に、もう一度考えよう~

● 平成 20 年 10 月 25 日 (土) 10 時~12 時  
(9 時 30 分受付開始)

この日、看護の日に予定しておりました「骨密度測定」をさせていただきますので、多数御参加下さい。